



京都マイコン研究会

第 146号

1999年9月1日発行

発行人 園口佳昭

事務局 京都府八幡市八幡城之内  
TEL FAX 07-741-7001, 742-8061  
444400@telcat.saq.ne.jp  
KYOMCOM@box.kyoto-inet.or.jp

### ピックアップニュース

増田さん始め皆さんへ

河原友三郎

滋賀県油日・別荘ツアーは、ご苦労さんでした。増田さんへお礼を申し上げます。  
先に、勝手な我が儘で帰宅して失礼しました。

当日は快晴に恵まれての一日ツアーでした。中辻さんには登山を止めての参加に感謝です。

現地、到着し、昼食後、宿泊施設までの草刈りを増田さん、中辻さんが原動機付き草刈り機で進入路を約2時間以上の作業で確保する。

マシンを据える前に、屋内の清掃を若林さんが大活躍されて、感謝感激であった。

遅れて、上田さんが夜なべの仕事を増田さんへ依頼のため合流。

IBM-PS55へWindows98 S.Eを入れたHDDを接続したが、動かない。夜中、遅くまで費やしてインストールしたにも係わらず、成功せず。

Linuxのインストールデモを始めたが、Turboは失敗、その他Linuxも試みるが、途中で某新聞社の取材を申し込まれて、8/29午後面談の約束のため、早く別れたので、その後の経過は中辻さんからレポートがあると思います。

その他に旧PC9801用のモニターの改造騒動が早朝から行われたが、簡単に改良できず、解決は後日に持ち越される。

以上、お礼と報告まで。

中辻さんへ

Win95/98のQへの回答。

WIN95/98のセットアップcd-romをHDDへcopyして、使用するためのレジストリの操作は今、見当たらないので、後日を期待下さい。

Tomoppy,  
E-Mail : tomoppy@anet.ne.jp  
HomePage : http://www.ha6.seikyuu.ne.jp/home/tomoppy/

別荘ツアーありがとうございました。

お荷物で(足のむくみがひどくなって)、ご迷惑をおかけしました。

河原さん、新聞社の取材はHPに関するものでしょうか?

楽しみにしています。

伊藤さんの宿題を素早く処理してしまう増田さんにササガと舌を巻きました。

excelのオートシェイプ機能は大変参考になりました。

若井

### 例会報告

1999年8月7日 (pm.6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 中辻、若井、中村、若林  
増田、岩井、上田、中西洋

内容 8名

### 次回例会

日時 99年9月4日(土)(pm.6:00)

場所 大山崎ふるさとセンター

例会内容 18:00 情報交換 近況報告 疑問質問  
19:00 部会活動、総会について  
20:30 滋賀県甲賀郡甲賀油日。視察  
一泊二日、ツアー報告。

二次会談 自由参加 21:30~  
よもやま話PCの悩み相談可

増田さんの滋賀県甲賀郡油日の別荘兼倉庫見学ツアー参加者の皆さんお疲れさんでした。

皆さんタフですな。

私はビールを飲んだら目がショボショボしてきて横になったら朝までグウグウでした。

河原さんと別れてからは、別荘に帰って直ぐに撤収して別荘を引き上げました。

鈴鹿サーキットの駐車場内にある中古パソコンショップに行き店内を見学して八幡に帰りました。

昨日(8/30日)は、地元の人と兵庫県の笠形山(939m)に行つて来ました。

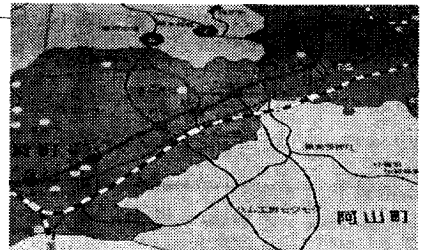
頂上は、25度で風は涼しく少し秋の気配でした。

\*\*\*\*\*

中辻 實

E-Mail

\*\*\*\*\*



# 「滋賀県甲賀郡甲賀町油日」 パソコンツアー体験記

増田則雄

滋賀県と三重県の県境にあたる、忍者にまつわる甲賀の里＝伊賀の里、でも知られています。この地に、私のパソコンを**20**台ほど忍ばせています。

敷地千坪の中に、**60**坪の倉庫と事務所そして**30**坪の隠れ家と、田んぼ、おまけに自然に生える草むらが沢山あります。



前の道は水口、信楽と名阪高速との接点で大型のトラックが往来して1号線にもつながっています。奈良からの伊勢路ともつながり。ここからは便利が良いのですが、私たちの住んで居る所からは、チョット遠いのが難？

さて、今回のハプニングやトラブル。ここにも出没という始まりから、終わりまでを順を追って解説していきましょう。

始まりは、会報記事でしたが、会員さんやお世話になっている中川氏からの要望でした。そこで河原氏と相談して河原氏が皆さんに下記のような内容のメールが出されました。

皆さんへ

残暑、お見舞い申し上げます。

お勤めの皆さんは、お金休みて英気を養い、ご活躍のことと存じます。

突然ですが、増田さんが三重のご親戚の家にパソコンを多数所有されておられることを紹介されてました。その利用を当クラブにも提供下さることになっています。

そこで、どのようなイベントが出来るか、現地を訪ねて実際の施設を調べて、今後の計画へ提案したいので、増田さんへ申し入れました。その結果、承諾を得ましたので、来る、8/28から一泊止まりで現地へ行くことになりました。

もし、小生と同じご意向をお持ちの方で、同行下さるのであれば、河原までメールでご一報下さい。詳しくは、出発時間や場所については、26日以降にメールで連絡します。

なお、この案内はクラブの非公式イベントであることを付記します。

当日の朝9:00に私の家に集まって頂き、地主である私の親戚で草刈り機を積み込み、出発。

現地に行く途中、吉川氏の自宅近所を通るので病気全快見舞に、皆さん一緒に訪れることにしましたが、当の本人はお留守でご子息がお相手をしていただきました。皆さんが、親に良く似ているとの事でした。

吉川氏に会えないのを残念に思いながら、木津川沿いに一路伊賀上野へと向い。途中、名阪高速に乗り渋滞の名阪高速を走りました。

上柘植で高速を下り、真っ直ぐ一直線に甲賀郡へ数分で公園が見え、ここが滋賀県と三重県の県境で、その隣がシオノギ製菓研究所で、その前が今回目的の場所です。ここから高速は見えています？

到着したところで車は倉庫の中で休ませる事に、その前に昼食を済ませに近くの食堂へ（小さな喫茶店、安くてまずまずの味。）行きました。

さて、今回の講習をする家に荷物を運び込むのですが、目の前の家に行くまでに難関が待ち構えていました。

雑草です。そのために出発するときに、草刈機を車に積み込んだのです。

今、この場に居られる方は、もう現役を退かれた方ばかりで、唯一現役の若井さんは、なんと、アキレス腱を切った松葉杖姿の悲惨な状態。こんな皆さんばかりで、少し前に現役を退いた中辻さんが、私と草刈を手伝っていただいたのですが、なにせ、現役を退いているので長続きはしなかったですね。



私一人の力に掛かってしまった。よく草刈り機を三台も持ってこなくて良かった。燃料も一杯入れてきたのに四分の一も減ってない。私もそろそろ疲れたので切りをつけたい、周りを見渡せば全体の燃料と同じの四分の一も刈れていない。全て刈るつもりで来たのに残念、リタイヤなり。



家の中に入ると、皆さんクーラーの下でゆっくりとくつろいで居られました。ただ、何かごそごそされていたのですが、それはクーラーが唯一効いている部屋の電気が点かないとのことです。

そうこうしている内に、私の携帯にコール誰かと聞けば、一番若い上田さんが今、「水口です」の電話。次にかかった電話が「公園です。」それは行き過ぎですと私、道路まで迎えに参上。

上田氏の車も倉庫に誘導。

それからが上田氏の活躍でした。

それまで皆さんがごそごそやっていたの

は、その部屋全ての電源が切れていたからです。如何にしてクーラーが効く涼しい快適な部屋で過ごそうと必死だったのです。

上田氏が自分の車に常設の工事用道具を下ろし、無い部品を車で近くて遠い雑貨屋（時間がかかった）へ走る。そのおかげで明るく快適な環境の下で過ごせるようになりました。

上田氏が、もともと何か紙に書いたものを私に見せるのです。B4サイズ8枚で何やら表が書かれていました。これから上田氏が、会社の仕事をここでするのかなど思いきや、これしてくださいと差し出した。一瞬頭が「くらっと」来た。

これは、と聞けば本田技研と言った瞬間に浮かんだのが例の奇人である伊藤氏である。話によれば、明日には要るということだ。そんなむちゃな。私はここへ何しに来たのだと考えたが、後の祭り。彼ら2人はアホかいな？

上田氏と伊藤氏は危ないなと感じた。近寄れば災いが訪れる？

今日は、河原氏と中辻氏のLINUX講座を楽しみに来たのに、EXCEL講座をする羽目になるとは夢にも？

取り敢えずは、本人に文字だけでも入力していただくことにしたが、彼のパソコンにはEXCELがインストールされていない。おまけにCD-ROMが認識しない。仕方なく私のノートで入力して戴くことに決める。その間に上田さんのパソコン

でCD-ROMを認識出来るようにすることにしました。ようやく認識させて作業が順調に進み始めたが、また、EXCELの使い方が上田氏は知らない、これまた問題、若井さんが付きっきりで指導することに。

私には、文字さえ入力していただければ朝めし前の作業でしたので、先にEXCELで入力していただいた（若林氏）文章を原稿通りのレイアウトに変更して図形を挿入して出来あがり

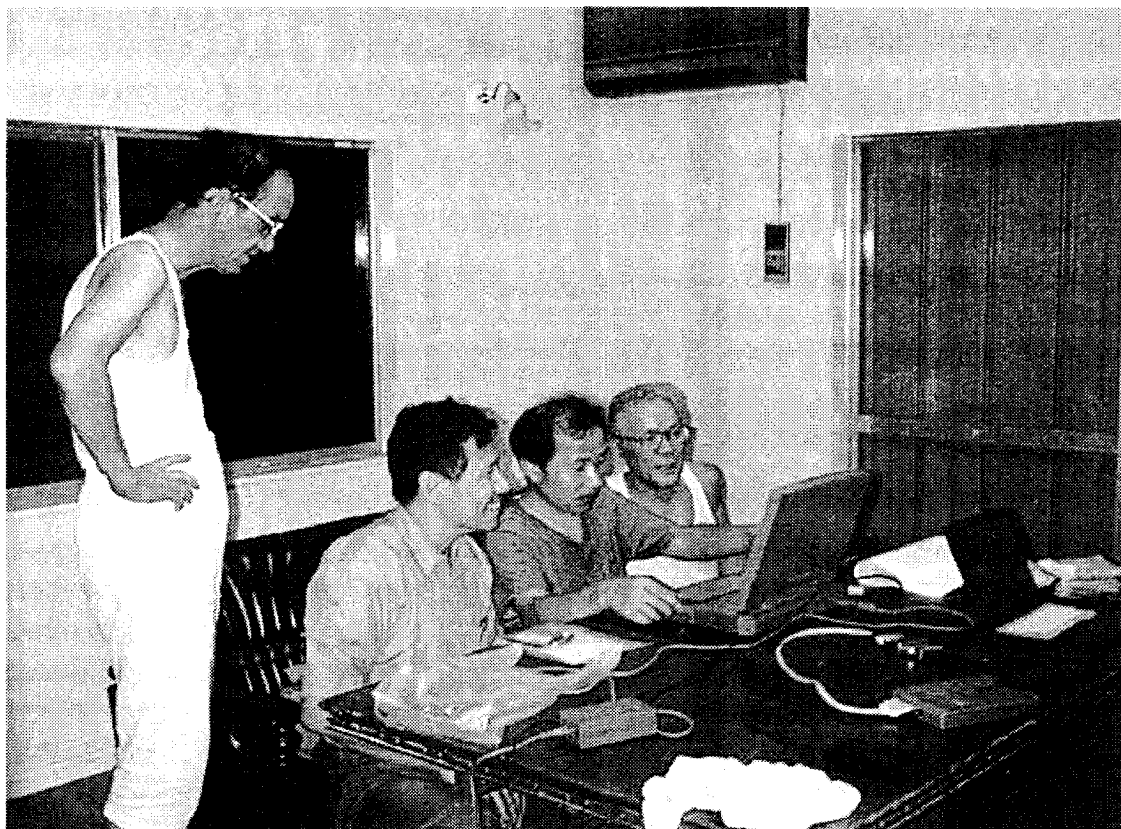
ました。まだ上田氏の入力が出来ていないので、6枚の同じレイアウトの表を作成する事にしました。文字入力は別として、罫線と主要な見出し文字を入力して完成しました。

上田氏が、張本人の伊藤氏に電話、参加のすすめコールです。どうやら来るそうですと、上田氏。（しかし、いつ来るか解らないということです。）

机の向こうでは、上田氏が入力作業の途中ですので、私は座敷の部屋の河原氏と中辻氏の所へ。

ところで、奥の部屋でも何かごそごとされて居られました。

HDDを外すのにIBM5551で苦慮されておられたようです。



本体をバラバラにしたのですが、HDDが外れない？後で解ったのですが、よく見れば前面から難なく取り出せるようになっていました。今までの苦労は難かった。天下のIBMさんそんなバラバラにしても外れない組み立て方してないですよ。ね。(時間を無駄にしました。)

なぜ、HDDを外さなければならなかったかは、Linuxを

導入するのに、このIBM5551にはCD-ROMが搭載されていないのであった。

そのため、FM/VにHDDを付けてLinuxを導入しようというものでした。ここでも、一つ難関が立ちふさがった、HDDの容量が420MBでLinuxが導入出来ないということであったのが後からの結果でした。

再度、私が予備に持参していたHDDを利用することになったが、またまた、この機械でもCD-ROMが認識しないというハプニングが起こっているのです。ようやく認識できるようになり、順調に行きそうになったのかどうか、私も忘れてしまいました。あまりにもクラッシュ、ハプニングの連続でしたが・・・

でも、時刻は午後8時を過ぎ時私の横では、知らないうちに中辻氏がぐうすかイビキで、健やかにお休みですが、あちらの応接間では若井氏の指導の元に上田氏が特訓を受けておられます。

上田氏が、伊藤氏いつ来るか解らないので起きているとの事でしたが、私が部屋を覗いた時にはもう寝ながら喋っておられた。

一番頑張りの河原氏とそろそろ休もうかということで皆さんすやすやとお休み。

朝、上田氏の電話が鳴る。我々寝てしまって忘れてしまった人からの電話。

「今朝4:00に京都山科を出て、2時間30分位かかって来たが解らず、シオノギの次の公園のキャンプ場で寝ていたと言う電話。」

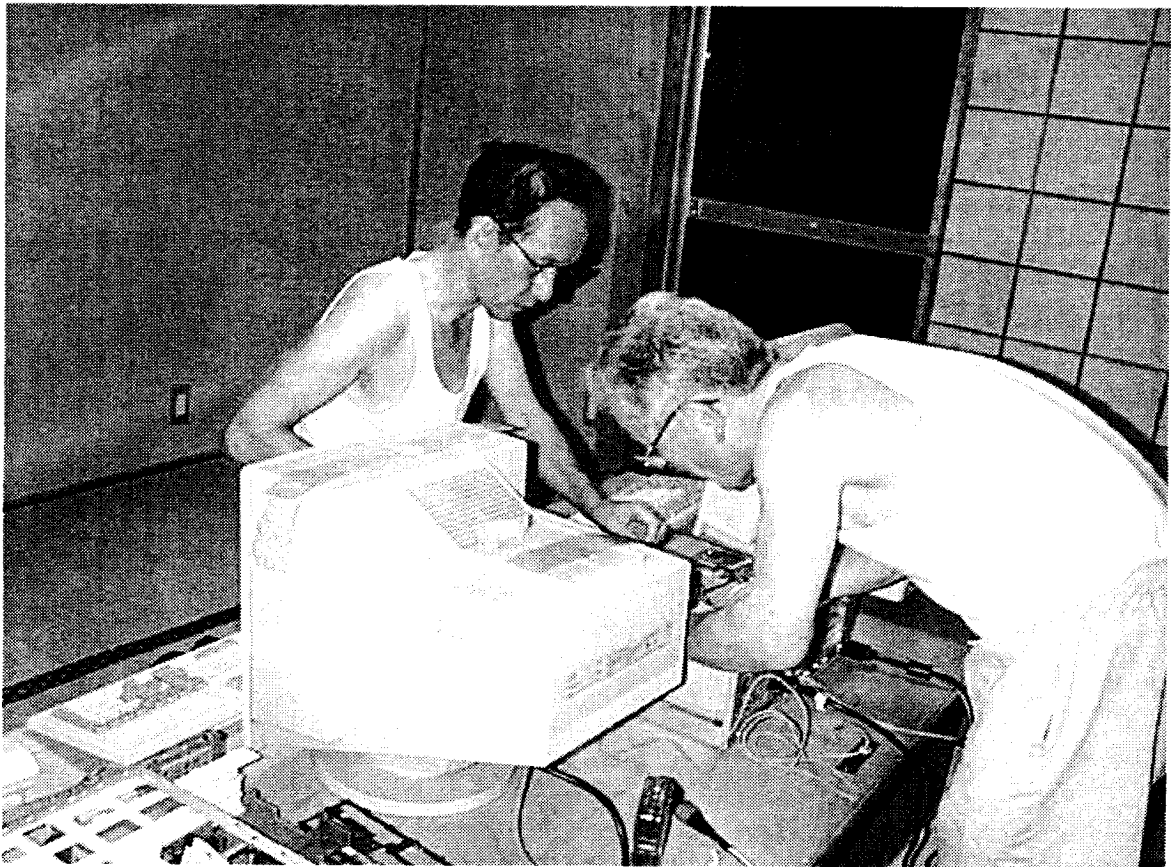
早速、上田氏探しに道路に出る。

さて、新しく伊藤氏が参加され役者が揃ったという感じです。到着後すぐに、伊藤氏に質問が投げつけられた。

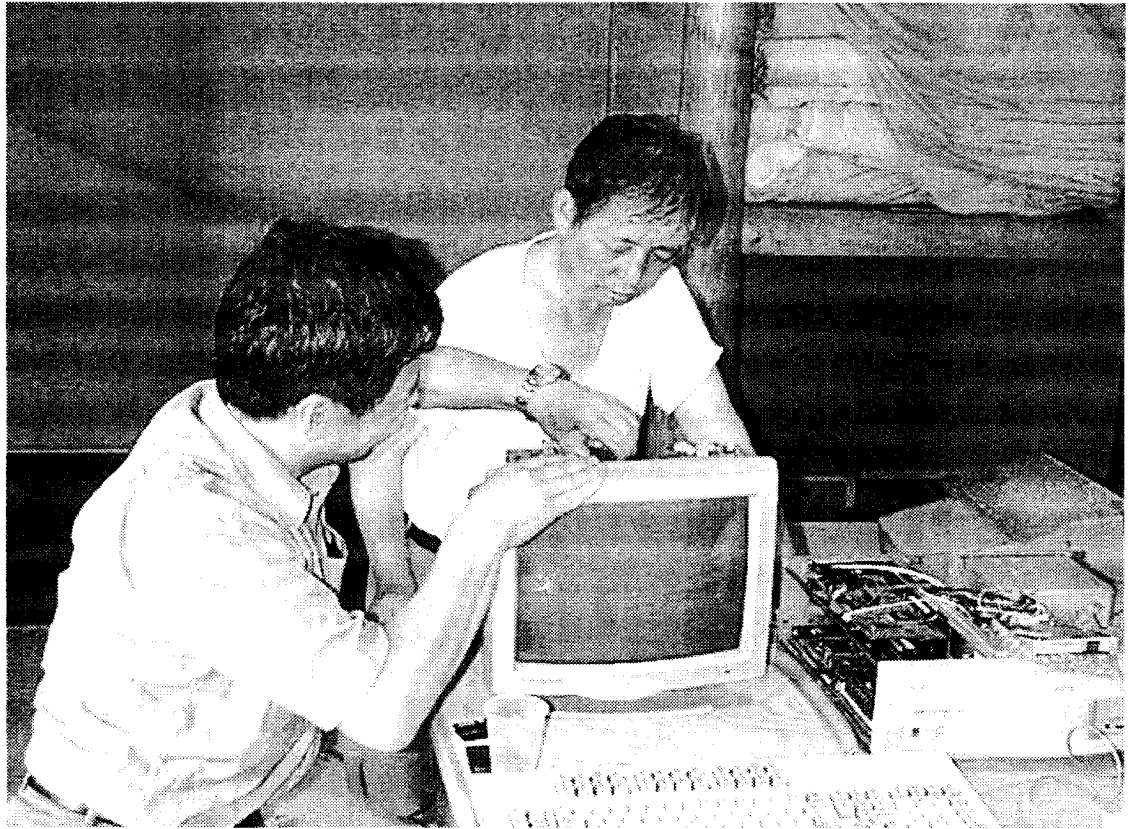
「NEC9801で使用のモニターをDOS/Vで利用しよう。」との試みは、数ヶ月前から事務局で継続して試みてきたことです。

この間に2のモニターを試験に使用しましたが、いずれもだめでした。そこで今回、伊藤氏がその改造する手ほどきを実習していただける事になりました。

モニターを解体する作業は、数回の事務局作業で手馴れたもので、そこに伊藤氏が仕事柄、水平同期のコンデンサーを探し出し、すぐさま半田こてで取り替えられた。モニターを元に組み立て、電源を入れると。「電源が入らな



い。「へんだな一」と伊藤氏。さらにもう一台解体したが同じ結果。そうこうする内に伊藤氏が帰る時間になり、この件に関する事は伊藤氏への提案課題として、モニターを持参してお帰りいただきました。7:00から9:00までの短時間の伊藤氏でしたが大変色々な勉強をさせていただきました。(伊藤氏お土産に、NECのモニターでコンデンサーを換えたモニターと、換えていないモニター持参されてきました。)



我々も、撤収準備にかかりそれぞれの荷物を運びこみました。

朝食後、河原氏が用事で先に帰られることになりお別れ致しました。

さて残った我々は、何処への相談の結果、上田氏が鈴鹿サーキットへの要望で名阪高速へ一路鈴鹿を目指しました。鈴鹿サーキットまでは30分程で着き、PCクリエイトへ、上田氏が興味を示しているノートを購入されるところを無理やり阻止、店を出てから上田氏に「あれは高い買い物と説得。」一応ホンダ技研のお下がり在这里で処分していると言うことを確認し、上田氏はこれから伊藤氏の所へ行かなければと言うことで、ここでお別れすることになりました。

私たち、若井、若林、中辻、増田はさて何処へさまようかと言うことになり、伊勢路を津へか、ゆっくりと帰路に就くか、の選択は後者の帰路をゆっくりと言うことで決まりました。

途中、なぜかしら号線に合流したのでこれは、上田氏と又会うかもと言いながらユータウンしてもとの道へ戻るお粗末も、旧街道は難しいので名阪高速に乗り来た道に戻るのでした。

このまますんなり帰るのも寂しいので、上柘植で高速を降り、伊賀上野の旧道に戻ることに決定。

途中、信楽の標識を見て横道に逸れる。この辺りは交通量が少なく車を運転する側にとってのはのんびりと出来るドライブ気分で行けると若林氏が、(言い忘れたが、帰路は運転を私から若林さんにバトンタッチしました。)ところが

先へ進んでいくと道路の車副が狭くなっている所がありました。

地図上では距離は短いのですが山腹をくねくねと曲がるため倍の時間が掛かったように感じました。

ようやく水口、宇治田原線に入り先が見えてきました。八幡市に就いたのが午後5:00でした。ここで皆さんと一泊二日の視察は終了いたしました。

この二日間とても良い天気に見舞われ快適な状況でした。今後、状況変わらない限り、皆さんにご利用して行きたいと思っています。

今回は、色々な意味で全てが視察でした。場所や環境でさまざまに変化するパソコンに対応できる。これは究極で